

グループ名	武蔵村山市立第三小学校 研究部	フリガナ 代表者氏名	ノナカ テッペイ 野中 哲平
学校名 (代表者)	武蔵村山第三小学校	電話番号	042-562-1753
研究テーマ	「確かな学力の育成を目指した授業改善と校内改善」		
研究期間	平成 30年 4月 1日 から 平成 31年 3月 31日 まで		
研究結果 の概要 ※詳細は別 紙により 報告	<p>1 実施計画に至るまでの経緯</p> <p>都学力調査から、本校の児童は算数の学習内容が「知識」「活用」とともに定着していないという実態が分かった。一方で、多くの児童が算数の学習に対し「分かる」と肯定的に捉えている。そこで、算数の問題解決的な学習での学び合いを通して、児童の「やってみたい」「楽しい」という気持ちを、「できた」「分かった」につなげていきたい。そのために、基礎・基本の定着と算数の資質・能力を身に付けることで確かな学力を育成できると考え、2年計画の校内研究を行うこととした。</p> <p>2 活動内容</p> <p>(1) 対象者：武蔵村山第三小学校 全児童（472名） (2) 教科 算数</p> <p>(3) 活動の特色</p> <p>校内ワークショップを通して挙げられた本校の課題を、「教師の指導」「もの・環境」「システム」の3つに分類化し、それに対して「授業改善」「校内改善－もの・環境－」「校内改善－システム－」の3つの視点から具体的に改善に取り組んだ。それにより、1時間のために作り込んだ研究授業だけの授業改善ではなく、日々の授業の改善を実現することで学力向上を目指してきた。また学力調査や意識調査を定期的実施し、その集計・分析を通して、本研究で児童の学びの「何が」「どのように」変わったのかを可視化することで、研究全体を見える化し、計画的・組織的・協働的に取り組んだ。</p> <p>4 成果</p> <p><授業改善に関して></p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して校内での研修や研究授業を行ってきたことで、算数の内容や指導に関する知識が積み重なってきた。また、実践経験豊富な講師の先生方より各単元の内容や授業の流れに即した具体的な手立てを学び、日々の授業に生かすことができた。 <p><校内改善－もの・環境－></p> <ul style="list-style-type: none"> 実物投影機やケーブル等を購入・配備したことで、ICT環境が整った。また、校内に不足していたドリルや指導書、算数に関するICTソフト、作図教具や各教材等を充実させることができた。それらの管理方法を定め、どのように使用していけばよいか共通理解を図ることができた。 <p><校内改善－システム－></p> <ul style="list-style-type: none"> 朝学習の年間実施計画を立案、実施内容を体系化し、実施することができた。また、東京ベーシック・ドリルの診断シートの結果を分析することで、児童の学力の変容を把握することができるようになった。それにより、授業以外で算数の学力を支える仕組みが整った。 		
その他 特記事項			

